

# 日本中国語学会々報

2000年6月

ごあいさつ

会員各位にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年の全国大会においてははからずも理事長に推され、もとよりその器にあらずと固辞いたしました。新しい制度改革のもと、第1回の常任理事の投票による選出結果でもあり、これを受け入れることにいたしました。

今年度はまた学会創立50周年の記念すべき時にあたり、くしくも世紀の変わり目という千年紀でもあります。本学会にも新しい世代の台頭が見られ、新しい学問研究の息吹も感じられ、その結実が期待されております。

このような歴史の転換点にあたり、会員各位のご支援ご協力のもと、本会の発展のため微力を尽くす所存でございます。どうぞよろしく願いいたします。

なお過日、榎本前理事長からの引継ぎを終え、学会事務局も移転いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

2000年6月

日本中国語学会理事長 相原 茂

## 第1回 合同会議議事録

2000年度常任理事会・編集委員会・50周年記念委員会の合同会議を4月29日に開催致しました。主として以下のような内容が審議されました。

### 1 学会事務局関連

#### 1) 会費請求について

従来、3年間未納の場合は除籍ということになっていたため、該当する会員については、今春会費を請求の上、なお未納の場合は会則に照らして除籍とすることを確認した。

#### 2) 新入会員の申し込み時期による資格について

問題になったのは年度末の2、3月に入会する場合の扱いで、特に学会誌への投稿資格との関連であったが、次のようにルール化することになった。

- ①4月から12月まではその年度の入会とする。関連して学会誌への投稿資格を「12月までに会員であること」とする。
- ②1月から3月の入会申し込み者は、希望すればその年度の学会誌、名簿などを受領し、その年度の会員となることができる。
- ③希望しなければ次年度からの会員となることができる。これに伴い、入会申込書に入会年度希望欄を設ける。

3) 海外在住の会員について

海外在住の会員には国内に連絡先を有し、代理連絡人をおいてもらうようお願いし、連絡および会費の請求は国内連絡人に行うことにする。

4) 学会事務のパソコン管理について

会員の住所管理、会費管理・請求などに関連する情報のパソコン入力作業を外部委託する。パソコン管理の徹底により、名簿作成も容易になる。

5) 今年度は創立 50 周年にあたり、記念として学会名簿を発行する。名簿の内容も一新し、会員情報の充実をはかる。これに伴い、会員の住所、勤務先、生年月日、電話、ファックス、Eメールなど会員情報の調査、確認を行う。

6) 役員委嘱について

理事・監事・会計監査を会報 3 頁に記載の方々に委嘱する。

7) 開かずのダンボール箱

これまで事務局で保管してきたダンボール箱の中味、主として『中国語学』のバックナンバーをこれを販売している内山書店に預かっていただくことになった。

8) 学会誌販売について

内山書店に販売委託している学会誌のバックナンバーの価格を次のように変更する。実施は本年 6 月より。

最新 3 年間 5 0 0 0 円    それ以前 1980 年まで 3 0 0 0 円  
1 9 7 9 年以前 5 0 0 0 円

2 学会誌編集発行について

1) 有効投稿論文 44 編から、審査の結果 16 編を掲載することに決定した。

2) 第 1 回日本中国語学会奨励賞受賞者を審議の結果決定した (2 名)。

3) 次号より従来の誌面の 2 段組を廃し、1 段組とする。

4) これまでの共立社印刷所が中国語の活版印刷を止めることになり、学会誌の新しい印刷所の選定については事務局に一任することにした。

5) 時期編集委員会の構成は、讃井唯允委員長、相原茂、平井勝利の委員が退き、新たに荒川清秀、遠藤光暁、佐藤進、佐藤晴彦、中川正之の各委員によって構成されることが承認された。

3 創立 50 周年記念大会について

50 周年記念行事企画について、中野達委員長より、10 月 28 日に祝賀式典・記念講演・祝宴などを予定している、また、記念講演には中国から語学研究者を招聘する予定で折衝中である旨の報告があった。

(なお、後日、理事長のほうから前理事長榎本英雄委員に 50 周年記念委員会の事務局長として、実務面の総括をしていただくよう委嘱し、了承を得た。)

2000～2001 年度 日本中国語学会役員

顧問	伊地智善継	鐘ヶ江信光	芝田 稔	波多野太郎	
理事長	相原 茂				
常任理事	木村英樹	興水 優	佐藤晴彦	讚井唯允	杉村博文
	中川正之	平井勝利			
理事					
〔北海道支部〕	黒坂満輝	邢 志强			
〔東北支部〕	何 治濱	長尾光之	花登正宏		
〔関東支部〕	阿部兼也	植田渥雄	遠藤光暁	大川完三郎	大島正二
	大塚秀明	金丸邦三	釜屋 修	川俣 優	小島久代
	桜井明治	佐藤 進	佐藤富士雄	瀬戸口律子	高橋弥守彦
	千島英一	陳 文芷	新田幸治	菱沼 透	平山久雄
	古屋昭弘	松村文芳	望月真澄	矢野光治	山下輝彦
	楊 凱栄	吉田隆司	依藤 醇	渡邊晴夫	
〔北陸支部〕	大滝幸子	菊田正信	中村雅之	山田真一	
〔東海支部〕	荒川清秀	岩田 礼	鶴殿倫次	黄 名時	中島利郎
	中鉢雅量				
〔関西支部〕	伊井健一郎	岩田憲幸	岩本真理	内田慶市	大内田三郎
	川口榮一	日下恒夫	張 黎	中川千枝子	西川和夫
	平田昌司	古川 裕	村上嘉英	<del>矢野昭夫</del> 辞退 7月	
〔中国支部〕	郭 春貴	狩野充徳	富平美波	松尾善弘	
〔四国支部〕	小林 立	方 経民			
〔九州支部〕	岩佐昌暉	佐藤 昭	西 紀昭	秦 耕司	山田敬三
会計監査	守屋宏則	玄宜青			
幹 事	石田知子	横川澄枝			

◆日本中国語学会 事務局

入退会、住所変更、所属変更など、会務のご連絡は郵便にて下記にお願いいたします。

112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1

お茶の水女子大学文教育学部

中文研究室内 日本中国語学会事務局

FAX 03-5978-5220

◆ 日本中国語学会創立50周年記念募金寄付者芳名 追加分

(敬称略 1999年12月1日以降の分)

2万円 (株)朝日出版社 (株)東方書店 (株)白帝社  
1万円 伊藤虎丸 小川文昭 鐘ヶ江信光 林要三  
5千円 陳文芷 吉田鐵也 佐藤昭 時衛国 柴森  
西山猛 山口和子  
3千円 楊凱榮 大西克也 王占華 釜谷修 星野享司  
2千円 村上公一 岩田憲幸 王霜媚 玄幸子 朱一星  
陳於華 武吉次朗 新島翠 東ヶ崎祐一 林俊男  
平山邦彦 福地桂子 丸尾誠 宮西久美子  
森岡文泉 吉川雅之 六角恒廣  
1千円 蘇明 鄭高詠

訂正 12月報告で「刑志強」の「刑」は「邢」の誤りでした。

寄付金総額は1389000円に達しました。ご協力ありがとうございました。

◆ 創立50周年記念大会

創立50周年記念大会は名古屋大学において2000年10月28日(土)、29日(日)の両日にわたり開催されます。28日(土)には記念式典が行われ、第一回日本中国語学会奨励賞の授与や記念講演・記念パーティーなどが予定されております。ふるってご参加ください。なお研究発表の申し込み締め切りは7月3日(月)です。

☆2000年度会費(5000円)納入のお願い

同封の振替用紙を使い、最寄の郵便局からお振込みください。事務簡素化のため、6月30日までのご送金にご協力ください。

郵便振替口座番号：00120-2-536256

なお、これまでの会費の未納については、振替用紙に記載してありますので、一括してご送金下さいますようお願いいたします。単年度分のみのご送金は、未納年度分に充当しますのでご了承ください。